

アッという間に暖かい季節から蒸し暑い季節へ
活発に活動し始める困ったアレ、
触りたくない!
見たくもない!

虫対策はプロにおまかせが一番!!

定期メンテナンスのアメニティなら
まるごとおまかせ!

カートリッジ交換も!
メンテナンスも!
捕獲状況の確認も!

豊富な機種ラインナップから、条件に合わせて選べます

ムシポン MPX-7000
ダブルカートリッジで圧倒的捕獲量

ムシポン Reflex
捕虫器とは思えないスタイリッシュさで
場所を選ばず置くだけ設置

ムシポン MP-301
シンプルデザイン省スペースでもしっかり捕獲

トイレを楽しくする新聞
かわや版
KAWAYABAN
2025初夏号
vol.114

日本水循環文化研究協会

次11回 リレーフラム

今回もおなじみ、総合トイレ学研究家の森田英樹さんにお話を伺いました。

“モース”のはなし

JR大森駅から程近くにある大森貝塚遺跡庭園に立ち寄ってみました。明治10年に来日したモースは横浜から新橋への汽車の窓から大森貝塚を発見したと言われています。庭園は高低差を生かした程良い広さで、貝塚跡や貝層の剥離標本の展示などもあり、この庭園がまさに貝塚であることが伝わる造りになっています。JRの線路を望む庭園の端に立つと、なるほどモースが車窓から見た景色はこの場所であったのかと感慨にふけると同時に、この地が縄文時代には海岸線であったとは信じがたい現在の姿が広がっています。

モースはアメリカのハーバード大学で学び、ボウディン大学教授を務めています。そのような彼は、いわゆる、お雇い外国人として東京大学理学部動物学科に教授として

特定非営利活動法人日本水循環文化研究協会とは…
本コラムでも取り上げられている屎尿に関する文化や国内外の水の循環をめぐる文化の発掘、普及、継承を目指して活動しています。2022年日本下水文化研究会から改組しました。

譚 文春文庫」と。当時の日本はまだ西南戦争で揺れ動いていました。そんな激動の時代に、婦人便所の重要性を説き、設置させたモースのトイレへの情熱は驚くばかりです。モースは「日本の女子トイレの父」と呼べるのかもしれません。

エドワード=シルベスター=モース。
1838年生まれ、1925年没。今年は没後100年にあたることを知りました。

モース胸像(大森貝塚遺跡庭園)

編集後記

今号のかわや版は女性とトイレがクローズアップされた内容になりました。先日のニュースでも“女性だけトイレ行列問題”が話題になっていましたが、トイレは一度作ってしまうと長く使用する設備だけに、問題を解決するために長い年月がかかってしまいます。しかしモースの例のように、今の便女の会の活動も100年後のトイレを変えていくことになるかもしれないと思いを馳せました。(セルベッチオ中嶋)

Information!

「うんち展 -No UNCHI, No LIFE-」

2025年3月18日～5月18日(会期中無休) 10:00～17:00

東京ドームシティ Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)

一般・大学生:1,700円 4歳～高校生:800円



あなたの町のアメニティネットワーク

アメニティ本部フリーダイヤル **0120-57-1110**

特集 トイレ大好き女子会 ベンジョ 「便女の会」に 潜入!

トイレ大好き女子ってどんな人たち? いったい何をするの? 「便女の会」親子イベントの様子をお伝えします!

便女の会とは

トイレ研究家の白倉正子さんが、世の中には意外とトイレ好きの女子がいるということに気づき「歴史好きな女子が『歴女』なら、トイレ好きな『便女』がいてもいいじゃん?」と、2017年に発足したのが「便女の会」。入会資格は『トイレを本気で良くしたくて、便女と呼ばれて怒らない女性』です。トイレ関連会社の社員、日本トイレ協会の会員、トイレ好きな社会人や大学生など、現在Facebookのグループには68名の便女たちが名を連ねています。実はかわや版編集長の私も発足当時からのメンバーなのです。

トイレと女性

なんだかふざけた会のように聞こえるかもしれません、参加者たちはい



便女の会発起人 白倉正子さんの思い

トイレのことを人に話すと変な人扱いされてしまったり、トイレ業界で働く女性が周りにいなかつたり…。食事やお酒を楽しみながら、でもまじめにトイレや排泄のことを語り合える場が欲しいと思って便女の会を作りました。この会から、世界や日本のトイレを変える「レジェンド便女」が誕生すればいいなと思っています。いつか「トイレ子供の会」も作れたら楽しいかも!



3月10日を勝手に『便女の日』と制定しました。今回はそれに合わせて開催された親子イベントに潜入しました。

親子イベント開催

「便女ママ&子供とトイレ教育、そして地図模型バーで語り合おう!」と題して、3月20日に便女の会、初の親子イベントが開催されました。参加したのは6人の便女と4人の子どもたち。東京ドームシティ Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)で開催されている「うんち展」と、そこから徒歩15分ほどにある「東京都水道歴史館」の見学、そして場所を赤坂の「地図模型バーM」に移しランチ&トーク会で盛り上がりました。

親子イベントの様子は次のページで→

うんち展

さまざまな動物の実物のうんちが、その「落とし主」のはく製と共に約150点展示されています。敵から身を守るためにや子育てにもうんちが利用されていたり、うんちが他の植物や人間の役に立っていたりと、生物の多様性やうんちの大切さを感じることのできる企画展でした。子どもたちからも「ペンギンが巣を汚さないようにうんちをピューって飛ばすのが面白かった」「肥料やキノコの栄養になったり、うんちって大切なんだなって学びました」など、それぞれの感想が聞かれました。



東京都水道歴史館

江戸から東京へ、400年の発展を支えてきた水道の歴史を学ぶことができます。上水道の展示がメインですが、便女たちが目をつけたのは江戸の長屋のトイレ。「汲み取りはどうやってしていたんだろうね?」「扉が半分しかないのが江戸式なんだよね」などマニアックな会話が繰り広げられました。



ランチ&トーク会

赤坂にある「地図模型バーM」でランチ&トーク会が開催されました。ここからはマンホール界のレジェンド森本庄治さんと、地図バーのオーナーで地図模型を制作する大道寺社長もオブザーバーとして加わり、参加者それぞれが自分とトイレの関わりや専門分野についてプレゼンを行いました。予定時刻を大幅に延長する大盛り上がりのトーク会となりました。

白倉正子さん

トイレ研究家で便女の会発足の趣旨や今後の野望などをプレゼンしました。うんちアクセサリー や 大便器コスチュームは子供たちにも大人気でした。



平井かおるさん

日本に2社しかない鉄道トイレを作る会社を昨年退職。鉄道トイレの歴史についてお話してくれました。線路へ汚物を垂れ流す開放式トイレが約20年前まで残っていたという話には驚きました。



内海美由紀さん&あきかちゃん

総務省が独創的な研究者を応援する国家認定「変な人」として美術館難民とトイレの研究をしています。子どもがいると美術館に行きにくい現象を、トイレを通して解決する方法を探っています。



上村雅代さん&ちはるちゃん

タイのめずらしいトイレの写真を撮り始めたのがトイレに关心をもったきっかけ。自らが社長を務める出版社がインドの学校を支援した際に建てたトイレや井戸掘りの支援についてもプレゼンしてくれました。



根本綾さん&みのりちゃん

福島県いわき市で汲み取り、浄化槽やトイレの管理を行う会社の取締役でトイレ診断士。会社やまわりのトイレ業界には女性が少ないのが悩み。女性の力でトイレを盛り上げようしてくれています。



まとめ

今回のイベントで、トイレに関して深く考えている女性がこんなにもいることに驚きました。それぞれの知識やご縁を通じて、トイレに対する新しい視点や化学反応が生まれるかもしれませんね。これからもトイレを通じた輪が広がりそうです。



トイレ診断士がお困り解決!

トイレの様々な「困った!」を解決するトイレ診断士の実践事例をご紹介します。



繰り返す洋式大便器の詰まりをトイレ診断士の診断技能と「ツマラントイレ」で解決!

問題点(症状)

株式会社コジマ様(ビックカメラグループ)は、全店でトイレのリニューアル工事を実施後、複数の店舗で頻繁に大便器の詰まりが発生していました。この問題により水道業者を手配することになり、費用が増加するだけでなくトイレが使用できることでお客様にご不便をおかけしていました。原因と解決策が明確に見つからない中、トイレ診断士にセカンドオピニオンを求めました。



診断内容

大便器内に溜まっている水位が本来の位置より高くなっていることから何らかの問題が発生していることが分かりました。大便器を外して本格的な診断を実施した結果、次の不適正な個所が判明しました。

排水ソケットの取り付け勾配

排水ソケットの取り付け勾配が緩い逆勾配になっています。これが原因でした。節水型便器はトルネード水流を使って、少ない水量でサイフォン現象を引き起こし、汚物を流します。そのため、わずかな勾配の異常でも洗浄水が停滞してしまい、詰まりの原因となっていました。



洗浄レバーハンドルの方向

便器を他メーカーに変更した際、洗浄レバーの「大」と「小」の方向が逆になってしましました。慣習的に「小」で流す人が多いため、洗浄水量が少なくなり、詰まりやすい状況が生じていた可能性も考えられました。



内視鏡診断では問題なし



改善策(治療)

排水ソケットの勾配調整

排水ソケットの取り付け勾配を適正な角度に調整しました。



洗浄レバーの方向変更と注意喚起

洗浄レバーの方向を適切に変更し、さらに利用者に注意を促すためPOPを作成しました。



大便器の交換

節水型便器に変更したことによる汚物を流す力が小さくなった関係から、それでもなお頻繁に詰まりが発生する便器には、洗浄水量を十分に確保できる「ツマラントイレ」に交換しました。これにより、詰まりの問題が解消されました。



この改善策により、詰まりの頻度は大幅に減少し、トイレがスムーズに使用できるようになりました。

今回のお困り解消アイテム

ツマラントイレ

近年の節水型仕様のトイレは洗浄水量が4.8ℓと洗浄水量が少なく、特に下水道や浄化槽までの距離が長い、また小規模複合店舗など、排水管の構造で流れにくい場合には詰まりが発生しやすくなります。タンクのみでも交換できる「ツマラントイレ」が低成本で詰まらないトイレを実現します。



解決



▲ツマラントイレ